

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)

【公開番号】特開 2006-129767 (P2006-129767A)
 【公開日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-020
 【出願番号】特願 2004-322020 (P2004-322020)
 【国際特許分類】

A 0 1 G 1/04 (2006.01)

【F I】

A 0 1 G 1/04 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 4 月 21 日 (2006.4.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 7】

麦焼酎蒸留粕を減圧濃縮装置により乾燥させて得た焼酎粕乾燥固形物を粉碎機により粉末にする。

麦焼酎粕乾燥固形物粉末	6 7 部	(重量比)
広葉樹木材オガ屑	3 3 部	
チアミン	0 . 0 4 部	

これらを攪拌機に投入して攪拌し、ついで水を少しずつ加えて含水率が 5 8 . 1 %、P H 5 . 4 の培地素材を作る。

上記培地素材をキノコ栽培用袋、びん等の容器に詰め、ついで高圧滅菌釜にて 1 2 0 で 3 時間滅菌処理し、ついで培地の温度を室温まで下げる。含水率 6 0 %、P H 5 . 6 であった。無菌室にて上記培地にブナシメジの種菌を接種し、ついで、2 1 の養生室において菌糸を一定期間培養し、ついで 1 7 程度、湿度 9 0 % の部屋に容器を移し、そこで芽だしを行い、子実体 (キノコ本体) の形成を行う。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 8】

上記栽培において、ブナシメジの菌糸の生長は極めて早く、栽培 9 0 日目にキノコを収穫できた。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 9】

カンショ焼酎粕乾燥固形物粉末	6 4 部	(重量比)
針葉樹木材オガ屑	2 8 部	
木炭粉末	4 部	

貝ガラ粉末 4 部
チアミン 0 . 0 4 部

これらを攪拌し、ついで水を加えて含水率 6 3 %、P H 4 . 4 の培地素材をつくり、これを栽培用容器に詰めて上例と同様に滅菌処理した。含水率 6 1 . 5 %、P H 5 . 5 8 であった。これにヒラタケ種菌を接種し、以下上例と同様に栽培を行った。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

菌系の生長は早く、栽培 3 2 日目でキノコを収穫できた。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

麦焼酎粕乾燥固形物粉末 7 0 部 (重量比)
針葉樹木材オガ屑 2 6 部
竹炭粉末 4 部
チアミン 0 . 0 4 部

これらを攪拌し、水を加えて含水率 6 2 %、P H 4 . 0 の培地素材をつくり、これを栽培用容器に詰めて滅菌処理し、含水率 6 0 . 2 %、P H 6 . 3 の培地として、これにヒラタケ種菌を接種し、以下上例と同様に栽培を行った。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

麦焼酎粕乾燥固形物粉末 4 0 部 (重量比)
針葉樹木材オガ屑 5 2 部
竹炭粉末 4 部
貝化石 4 部
チアミン 0 . 0 4 部

これらを攪拌し、水を加えて含水率 6 0 %、P H 4 . 9 の培地素材をつくり、これを容器に詰めて滅菌処理し、含水率 5 9 . 2 %、P H 5 . 7 の培地素材とし、これにナメコ種菌を接種し、以下同様に栽培を行う。